

第43回神奈川県病院学会 報告

日 時 2024年9月18日(水) 午後1時から午後6時

会 場 ホテル・ザ・ノット ヨコハマ (実地開催のみ)

学会テーマ 「いのち」を守る病院の未来 ~災害医療と医療DX~

参 加 者 203名

プログラム

開会の辞 長堀副会長

学会長挨拶 吉田会長 (学会長)

来賓挨拶 神奈川県健康医療局長 足立原 崇
神奈川県医師会会長 菊岡 正和

特別講演 「災害時医療とデジタルトランスフォーメーション (DX)」
地方独立行政法人神奈川県立病院機構理事長 阿南 英明

シンポジウム 「医療 DX の未来」
座長 県病院協会 副会長 長堀 薫 (学術委員長)

・シンポジスト発表

「多職種協働ネットワークの最適化

—人が真ん中になる医療を目指して—

社会医療法人石川記念会 HITO 病院 理事長 石川 賀代

「大阪大学医学部附属病院 AI ホスピタルの取り組み」

大阪大学大学院 医学系研究科社会医学講座教授 川崎 良

・意見交換

一般演題 全30演題 (口演発表14演題・ポスター発表16演題)

学会長表彰

・一般演題（口演発表）優秀演題（3名）

「当院におけるポリファーマシー対策 ～災害時の薬品不足を見据えて～」

クローバーホスピタル 堤 泰輔

「厨房業務改善の取り組み ～調理済みパッケージ「モバイルプラス」導入

による効率化と食事満足度向上～」

さがみりハビリテーション病院 田村 亜希子

「「身寄りがなく判断能力が不十分又は喪失した人への入院中に行う

相談支援（ソーシャルワーク）に関するアンケート」についての報告」

神奈川県医療ソーシャルワーカー協会 佐野 晴美

・一般演題（ポスター発表）優秀演題（3名）

「災害時における情報伝達ツールについて ～IP 無線アプリ活用の検討～」

済生会横浜市東部病院 矢口 達也

「救急・集中治療診療の並列診療に対する重症患者管理ツール iBSEN の

有用性の検討と災害医療に対する今後の展望」

横浜市立大学附属病院 小川 史洋

「当院検査課の災害対策への取り組み」

横須賀共済病院 難波 真砂美

閉会の辞 沼田常任理事

